

研究発表

ア 学会誌等

（庄司進一、わたしの講義 総合科目「臨床人間学」、筑波フォーラム、48号、1997年11月）

（庄司進一、医学校における倫理観とヒューマニティの教育、医学教育、28巻5号、1997年10月）

（庄司進一、情意領域の教育としての臨床人間学の提言、内科専門医会誌、9巻1号、1997年2月）

（庄司進一、パネルディスカッション「内科臨床指導医に求められるもの」『効果的な評価法』、日本内科学会誌、87巻9号、1998年9月）

（柿川房子、山崎章郎、志真泰夫、庄司進一、高沢洋子、ターミナルケアにおけるコミュニケーションスキルを考える（前編）、がん看護、3巻4号、1998年7—8月）

（柿川房子、山崎章郎、庄司進一、臼田美智子、ターミナルケアにおけるコミュニケーションスキル（後編）、がん看護、3巻6号、1998年11—12月）

（森淑江、江守陽子、紙屋克子、戸村成男、柳久子、土屋滋、岡田直子、赤沢陽子、筑波大学チーム医療実習における教育効果の検討—実習レポートの分析から—、医学教育、30巻1号、1999年2月）

イ 口頭発表

(庄司進一、岩川眞由美、大越教夫、吉澤利弘、湯沢健次、武田裕子、大滝準司、紙屋克子、入学直後のチュートリアルによる情意領域の教育、第 29 回日本医学教育学会、金沢、1997.7.18)

(庄司進一、紙屋克子、生命倫理教育としての臨床人間学、第 9 回日本生命倫理学会年次大会、つくば、1997.11.2)

(庄司進一、紙屋克子、安楽死に対する大学生の意識—専攻分野と性による差異—、第 3 回日本臨床死生学会、東京、1997.11.29)

(庄司進一、効果的な評価方法、パネルディスカッション「内科臨床指導医に求められるもの」、第 95 回日本内科学会講演会、大阪、1998.4.10)

(庄司進一、紙屋克子、生命倫理と人間性教育のための臨床人間学、第 1 回日本高等教育学会、広島、1998.5.30)

(庄司進一、シミュレーションを加えたロールプレイ型臨床講義、パネルディスカッション「学生中心の問題解決型臨床授業」、第 29 回日本医学教育学会、東京、1998.7.17)

(庄司進一、紙屋克子、臨床人間学の実践、第 1 回学校における生命倫理教育ネットワーク夏期合宿、つくば、1998.8.9)

(庄司進一、紙屋克子、生命倫理と人間性教育のための臨床人間学、第 10 回日本生命倫理学会、明石、1998.10.18)

(庄司進一、紙屋克子、大学生の臨死疑似演習—末

期がんが発見されたあと三ヶ月の命と告知された一、
第4回日本臨床死生学会、第17回日本医学哲学・倫
理学会 合同大会、浦安、1998.10.24)

(Shin'ichi Shoji, Katsuko Kamiya, Students
attitudes to illness, 4th International Tsukuba
Bioethics Roundtable, Tsukuba, 1998.11.1)

(Shin'ichi Shoji, Katsuko Kamiya, Differences in
attitudes of medical and non-medical students
towards use of advanced medical technology. 4th
World Congress of Bioethics, Tokyo, 1998.11.5) (庄
司進一、紙屋克子、教養教育としての「臨床
人間学」、第2回日本高等教育学会、東京、
1999.5.23)

(庄司進一、講演 臨死疑似演習—あなたの命は
長くない—、第11年度民生委員・児童委員代表
者研修会、下館、1999.6.24)

(庄司進一、岡村健二、小山哲夫、能勢忠雄、草刈
潤、筑波大学専門学群における初めての OSCE、第
22回日本プライマリ・ケア学会、つくば、
1999.6.27)

(庄司進一、紙屋克子、大学生の生死の決定とその
理由—専攻分野による相違、第6回日本死の臨床研
究会関東支部大会、大宮、1999.7.3)

(庄司進一、1年次テュートリアル「人間学入門」導
入 学生の留年率は半減した、第31回日本医学教育
学会大会、東京、1999.7.29)

(庄司進一、暖かい心を育む医学教育は可能か、
第31回日本医学教育学会大会、東京、1999.7.29)

(Shin'ichi Shoji, Katsuko Kamiya, "Clinical Anthropology" class for education of humanity, bioethics and how to look at science. AMEE Conference, Linkoping, 1999.9.1)

(庄司進一、紙屋克子、大学生から専門家までを対象としたデスエデュケーションとしての「臨床人間学」、第23回日本死の臨床研究会年次大会、札幌、1999.9.18)

(庄司進一、紙屋克子、積極的安楽死に対する医学生と他の分野専攻学生の意識差、第5回日本臨床死生学会、長岡、1999.10.30)

(Shin'ichi Shoji, Katsuko Kamiya, Clinical anthropology classes for education of bioethics, 5th International Tsukuba Bioethics Roundtable, Tsukuba, 1999.11.21)

(庄司進一、紙屋克子、先端医療技術に対する医学生と他の専攻分野学生との倫理観の相違、第11回日本生命倫理学会年次大会、千葉、1999.11.27)

(Shin'ichi Shoji, Katsuko Kamiya, Clinical anthropology class for education of bioethics, International Conference "Bioethics Education in Medical Schools", Eilat, 2000.2.15)

ウ 出版物

（庄司進一、ターミナルケアと教育、『現代のエスプリ』、ターミナルケアの周辺、ターミナルケアの現状と展望、至文堂、No.378、1999年）

（庄司進一、私の授業実践—医学、『筑波大学 FDハンドブック』、筑波大学教育計画室、2000年3月）

（庄司進一、総合科目『臨床人間学』の提言—筑波大学教養教育における試み—、『日本における高校での生命倫理教育』、ユウバイオス倫理研究会、2000年）